

専修大学 ホームカミングデー

日時：2008年11月2日(日) 開始時間未定
場所：生田キャンパス130年記念館(10号館)
●お問い合わせ：庶務課 ☎044(911)1239

専修大学校友会 定時総会

日時：2008年12月6日(土) 12時開会
場所：港区「グランドプリンスホテル新高輪」
●お問い合わせ：校友会事務局 ☎03(3265)7579



38年の継続に誇り

森下健三ゼミOB会

森下健三名誉教授の〇念品の贈呈の後、懇談にB会は、6月7日、「喜寿」として、各学年、同期同士、寿&ご成婚50周年(金婚)前後の先輩、後輩と学生式を祝う会」を東京オペラシティ「東天紅」で開催した。写真。



第1期生から24期生まで22人が参加。花束や記が、5期生からは開いた時期もあつたが、38年も続いているOB会を誇らしく思う」という感想が聞かれた。「継続は力なり」、これからも年一回、森下教授を囲んで学生時代を思い出し、楽しい時間を皆で共有していきたい。(OB会幹事 檀原康伯 ☎昭57経済)

校友短信

新社長(50歳)
五十嵐 泰彦氏(いがら)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、神奈川県横浜市。情報通信サービス、ソフトウェア開発サービスなどビジネス関連サービス事業。
石崎 享男氏(いしざき)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、東京都港区。不動産業。保険業務等。

「創立130年記念事業 資金募金」にご協力を

専修大学は2009年(平21)に創立130年を迎えます。石巻専修大学は今年創立20年、専修大学北海道短期大学は創立130年記念事業資金募金を発足させ、広く募集を行っております。寄付金のお申し込み、お問い合わせは専修大学募金局 ☎03(3265)3157へお願いいたします。



「専修大学の個性」第2回。多彩な学びが、人生を豊かにする。落語家対談 / 桂小文治師匠、立川談修「われら専修人」若菜美千代、山下洋一郎、ほか。

「アドニス」44号発行

校友会情報誌「アドニス」44号が7月15日に発行された。今号は特集「定期購読をご希望の方は校友会事務局 ☎03(3265)7579まで」。

増上 浜爾氏(たじ)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、東京都港区。不動産業。保険業務等。
戸島 保氏(としま)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、東京都港区。不動産業。保険業務等。
藤森 洋氏(ふじもり)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、東京都港区。不動産業。保険業務等。

田口経営学部教授の「流通論」で ゼミ5期生の長谷川さんが講義



▲ 教え子の成長ぶりを見つめる田口教授(最前列右端)

「理論と実践の融訪ねて」参照。経営学部では、外部から自社の100%のネットワーカーで、1日の宅急便取り扱いは約320万個という同社が、向を伝えてもらう授業。0万個という同社が、コア科目で実施。さまざまな困難を乗り越え、どのように発展している。

山路 亨氏(やまじ)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、東京都港区。不動産業。保険業務等。
佐賀屋 隆氏(さげや)が、新社長に就任。本社は、25日付で就任。本社、東京都港区。不動産業。保険業務等。

校友会からのお知らせ

会計人会総会・懇親会
7月18日(金) 16時45分
分開会。宮崎市「宮崎観光ホテル」
第9回アドニスカップ
宮崎ゴルフ大会
8月2日(土) 8時スタート。宮崎市「ハイビスカスGC」(本紙・6分開会。我孫子市「湖北月号既報」)

専大校友を訪ねて

1日の取り扱いは約320万個というクロネコヤマトの「宅急便」。小口荷物を電話一本で集荷。翌日配達する画期的なサービスは、若手社員が中心となり、1976年「ベンチャー精神」に、やりたことをやらせてくれる社風に引かれ、入社した。『論理的思考』『時代の風を読む』といった教えが、社内には根付いています。人をまとめる立場に立つたとき改めて、その偉大さを感じました。

長谷川真也さん

(昭59経営) 新東京主管支店・主管支店長 ヤマト運輸株式会社

彼女の本

COMCOME 五十嵐 豪さん(平20経営) 著
「彼女の本」は、50歳以上の女性に読んでほしい本。印刷まで立ち会った五十嵐さんの活躍は、http://www.comcome.com/で読めます。

「彼女の本」は、50歳以上の女性に読んでほしい本。印刷まで立ち会った五十嵐さんの活躍は、http://www.comcome.com/で読めます。

「人」を育てる喜び・環境に感謝

3年目には営業所長を任された。「人手が足りないとときには、配達にも回り、お客様が荷物を受け取ったときの笑顔に、喜びや感謝を届ける仕事」だと実感しました。たとえ時を振り返る。新東京主管支店は新宿区、港区、品川区、大田区をはじめ伊豆大島までが担当範囲。管内数千人の社員が、安全・確実に業務を遂行できるように統括する。